

平成23年度 第1回函館市行財政改革推進統括会議

日時 平成23年11月18日（金）15：30～16：30
会場 市長会議室
参集者 工藤市長，中林副市長，片岡副市長，山本教育長，秋田企業局長，
吉川病院局長，渡辺企画部長，上戸総務部長，大竹財務部長

議題 ◎函館市役所労働組合連合会（市労連）との交渉経過について
＜対応：谷口総務部次長＞
◎平成24年度 職員数の見直し案について
＜対応：谷口総務部次長，小林行政改革課長，小山内人事課長＞

◆議題の趣旨◆

冒頭で行財政改革推進統括会議および行財政改革推進本部の位置づけや役割について改めて確認を行い，引き続き，市労連交渉のこれまでの経過が報告されました。また，平成24年度の職員数の見直し案の内容について協議を行いました。

◆協議の結果◆

平成24年度の職員数の見直し内容については，概ね了承されました。

◆主な発言◆

◎市民部関係

（工藤市長）

見直し案によると，「男女共同参画推進」の業務が市民課で担当することにより，名称が消えてしまうが，市の施策として後退させるわけではないので，課の名称を工夫できないか。

（中林副市長）

例えば，課を廃止しないで，市民部次長が課長事務取扱とすることもできるのではないか。

（行政改革課長）

改めて，市民部と協議することとしたい。

◎観光コンベンション部関係

（工藤市長）

観光施策と経済施策は関連が強いことから，観光コンベンション部と経済部を統合することで施策推進の一層の効率化や合理化が図られるのではないか。

（片岡副市長）

現在観光コンベンション部については，観光施策の強化を図るため，観光コンベンション協会との連携を強化し，窓口の一元化を図ることを検討している。

(工藤市長)

部を統合しても、観光部門には部長職を配置してよいと考えている。今後、検討してほしい。

◎教育委員会関係

(工藤市長)

学習文化課とあるが、学習と言えば義務教育を発想するのではないか。この名称も工夫が必要と考える。

(山本教育長)

時間をかけて検討した結果の名称である。生涯学習課と文化振興課の統合ということなので、「学び」と「文化」という趣旨で「学習文化」という造語とした。

(行政改革課長)

教育委員会と改めて協議することとしたい。
